

(新)新循環基本計画の策定を受けた3Rの国民運動の展開
69百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

循環型社会を形成するためには、3R(リデュース・リユース・リサイクル)が重要であるが、そのうちリサイクルについては各種個別法が制定され取組が行われている。

廃棄物の発生を抑制するリデュースや追加する消費エネルギーや環境汚染が少ないことからリサイクルより優先されるリユースの取組をさらに推進していくことが必要である。

過去の点検結果を踏まえ、新循環基本計画においては、リデュース・リユースに関する取組の強化が求められる可能性が高いことから「もったいない」の広がりを活かしつつ、国民一人一人のライフスタイルの変革を進めていくため、3Rの普及広報を国民運動的に展開する。

2. 事業計画

・リユース食器の導入実績が乏しい大都市圏を重点的に、取組が遅れていたイベントや飲食業といったサービス産業において、リユース食器の導入実証試験を実施する。

・リデュース・リユースにつながる「リペア」(修繕等のサービスのみ)の取組についてはその全体像が明らかではない。今後リペアの振興施策を検討していくために、まず、その全体像・課題・政策として支援可能な対象を整理する。

・循環教育モデル校を設定し、地域における3Rの取組について調べ、理科系の実験を行う等具体的な授業について実際に行い課題を抽出する。実験機材や教師用マニュアル、生徒に配布するパンフレット等を作成し、実際に使用するとともに改善点をまとめ、全国に普及できる循環教育授業のセットを作り上げる。

・取組を強化する必要があるリデュース・リユースについて、メディアを用いた国民運動の展開を図るため、10月の3R推進月間にふるしき等に関する普及啓発キャンペーンを集中的に実施するといったメディアを使った全国的な広報活動を展開するとともに、先駆的な取組を行ってきた団体のノウハウや経験を伝達するリユース食器導入セミナーを実施し、各種メディアを活用してリユース食器使用後の回収への協力等に対して広く国民に周知し、国民運動への展開を図っていく。

3. 施策の効果

循環型社会の形成に向けて、国民に3Rの推進を身近な問題としてとらえてもらうことで、リデュース・リユースの取組を強化し天然資源の消費を抑え、使い捨てに対する消費者の意識を変化させ環境への意識を高めるきっかけになる。最終的には一般廃棄物の減量につながることになる。

4. 備考

調査費 69,000千円

(内訳)

野球場におけるリユース導入実証試験調査	20,000千円
リペア普及促進実態調査	15,000千円
循環教育モデル事業調査	14,000千円
3R推進国民運動広報事業	20,000千円